

平成 28 年度におけるダイオキシン類環境調査結果の概要

大阪府及び関係機関^(※)では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、一般環境中のダイオキシン類の常時監視を行っています。

(※) 関係機関：国土交通省近畿地方整備局、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、柏原市、東大阪市

また、これまでに環境基準を超過した河川について、その原因の特定や汚染範囲の確定などのために、大阪府等が追跡調査を行っています。

平成 28 年度に実施した常時監視及び追跡調査の結果の概要は以下のとおりです。

概 要

(1) 常時監視

- 大気 32 地点、河川水質・底質各 67 地点、海域水質・底質各 8 地点、地下水質 21 地点及び土壌 24 地点においてダイオキシン類の常時監視を行いました。
- 大気、海域水質、海域底質、地下水質及び土壌では、調査した全ての地点で、環境基準を達成していました。河川水質では恩智川「住道新橋」及び寝屋川「今津橋」の 2 地点、河川底質では左門殿川「辰巳橋」、神崎川「千船橋」及び安治川「天保山渡」の 3 地点で環境基準を超過していました。
- ダイオキシン類の常時監視を開始した平成 12 年度からの推移をみると、府内における大気、河川水質・底質、海域水質・底質中の濃度は概ね緩やかな改善傾向で推移しています。また、地下水質、土壌（一般環境調査）及び海域水質では、調査した 17 年間の全ての地点で環境基準を達成していました。
- 今後も常時監視を継続するとともに、環境基準を超過した地点については追跡調査を実施した上で、関係機関と連携して基準達成に向けた取組みを行っていきます。

(2) 追跡調査

- 4 河川（恩智川、平野川、三箇牧水路、左門殿川）で追跡調査を行いました。
- 恩智川では、「南新田橋」と「式部橋」において、また、平野川では、「南太子橋」及びその上流の「了意橋上流」において、水質の環境基準を超過しました。
- 三箇牧水路では、平成 18 年度に行われた底質除去工事後の経過を監視するために水質と底質の調査を継続して実施しています。底質除去工事前に比べて水質、底質ともに改善が確認されていますが、依然として環境基準の超過が確認されました。
- 左門殿川の「辰巳橋」では、平成 27 年度の底質の常時監視で環境基準を超過したため、その周辺において追跡調査を実施（平成 27～28 年度に計 12 地点）しましたが、環境基準の超過は確認されませんでした。
- 今後も環境基準を超過した河川について水質及び底質の調査を行い、原因究明や濃度変動の状況把握に努めるとともに、周辺事業所に対して排出基準遵守の監視指導を継続します。

1 常時監視結果

平成 28 年度のダイオキシン類常時監視結果及び常時監視を開始した平成 12 年度からの調査結果の推移は次のとおりです (P6 表 1、P7 表 2 参照)。

(1) 大気〔環境基準 年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³以下〕〔図 1、図 6、表 3〕

平成 28 年度の大気中のダイオキシン類調査は 32 地点で実施しました(一部地点は、隔年で実施。)。年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.0063~0.054 pg-TEQ/m³、平均値は 0.017 pg-TEQ/m³であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度 (DXN 濃度) の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始後、平成 15 年度まで大きく低下し、平成 16 年度以降、緩やかな改善傾向で推移しており、府内における大気中の濃度は改善しています。

なお、平成 12 年度から平成 14 年度の間では、一部の地域で環境基準を達成していませんでしたが、平成 15 年度以降は、全ての地点で環境基準を達成しています。

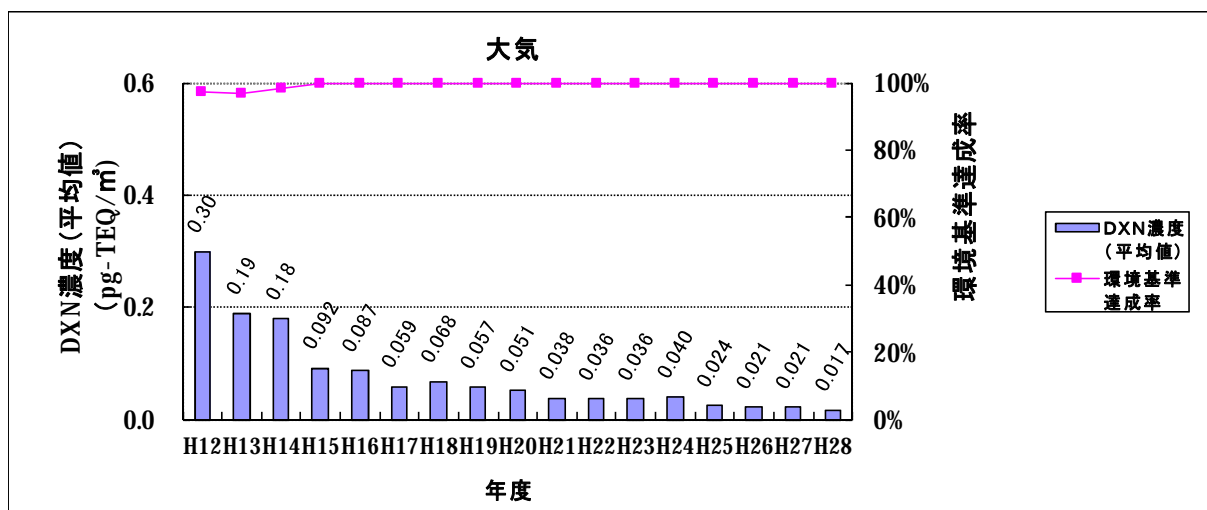


図 1 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (大気)

(2) 公共用水域の水質〔環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L以下〕

ア 河川水質〔図 2、図 7、表 4〕

平成 28 年度の河川水質の調査は 67 地点で実施しました(一部地点は、隔年で実施。)。年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.021~1.2 pg-TEQ/L、平均値は 0.26 pg-TEQ/L でした。恩智川「住道新橋」及び寝屋川「今津橋」の 2 地点で環境基準を超過し、環境基準達成率は 97.0% でした。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始後、平成 19 年度まで緩やかな改善傾向を示しており、平成 20 年度からほぼ横ばいで推移しています。

なお、環境基準達成率は、平成 12 年度から平成 19 年度までは 90% をやや下回っていましたが、平成 20 年度以降は 90% 以上で推移しています。

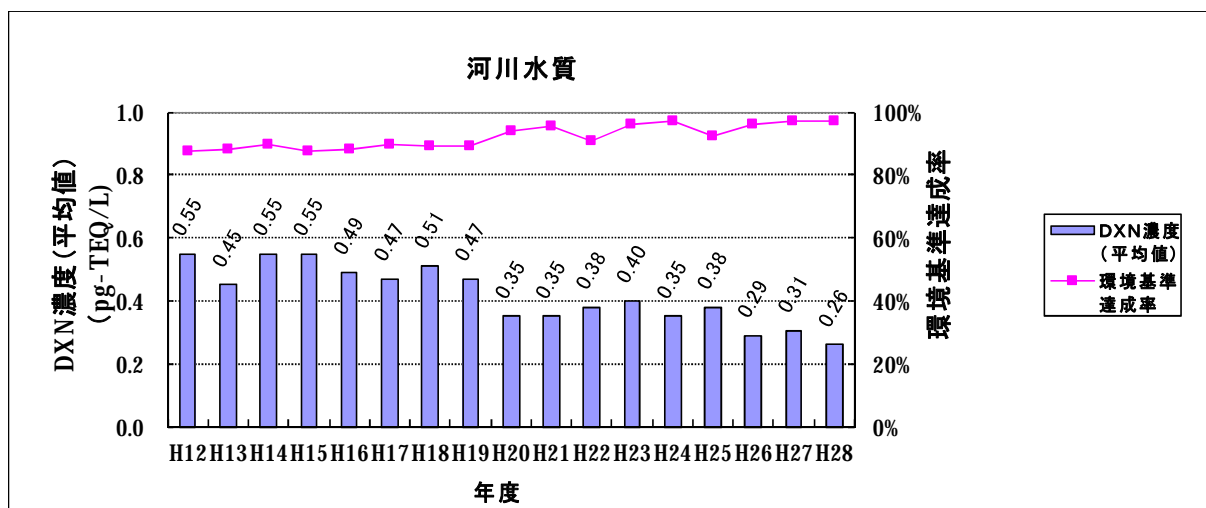


図2 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川水質)

イ 海域水質 [図3、図7、表5]

平成28年度の海域水質の調査は8地点で実施しました(一部地点は、3年ごとに実施)。年間平均値で見ると、濃度範囲は0.017~0.067 pg-TEQ/L、平均値は0.037 pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度及び平成14年度を除き、測定開始後平成22年度までほぼ横ばい、平成23年度以降緩やかな改善傾向で推移しており、概ね環境基準値の1/10となっています。

なお、平成12年度調査から全ての地点で環境基準を達成しています。

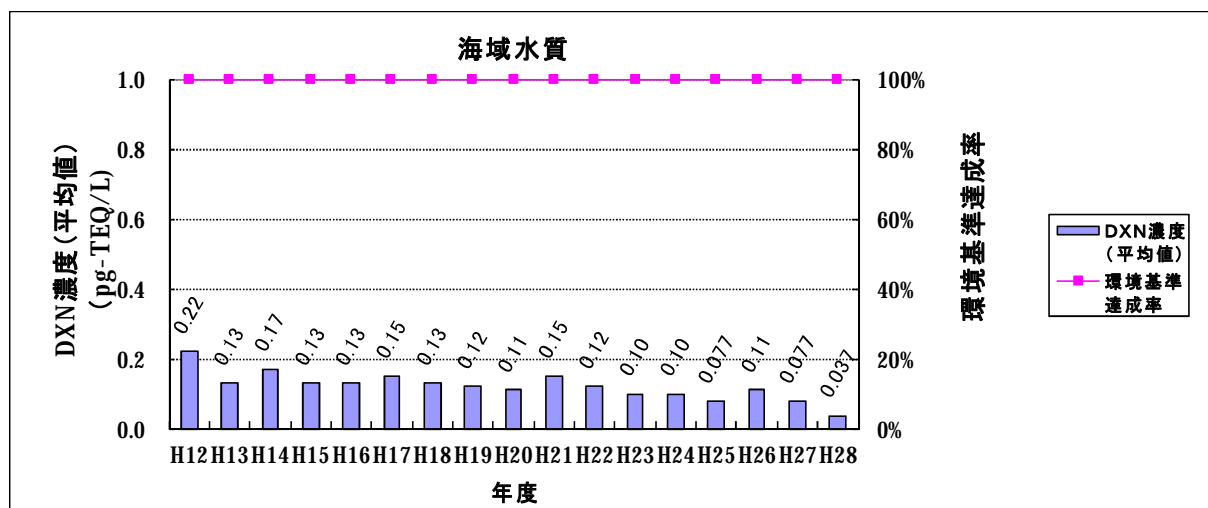


図3 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (海域水質)

(3) 公共用水域の底質〔環境基準 150 pg-TEQ/g 以下〕

ア 河川底質〔図4、図7、表4〕

平成28年度の河川底質の調査は67地点で実施しました(一部地点は、隔年で実施。)。濃度範囲は0.14~490 pg-TEQ/g、平均値は26 pg-TEQ/gでした。左門殿川「辰巳橋」、神崎川「千船橋」及び安治川「天保山渡」の3地点で環境基準を超過し、環境基準達成率は95.5%でした。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始後、平成26年度までは緩やかな改善傾向で推移していましたが、平成27、28年度は環境基準超過地点の影響を受け過年度と比べ平均濃度が高くなっています。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成14年度以降の環境基準達成率は、83.6%~100%の範囲で推移しています。

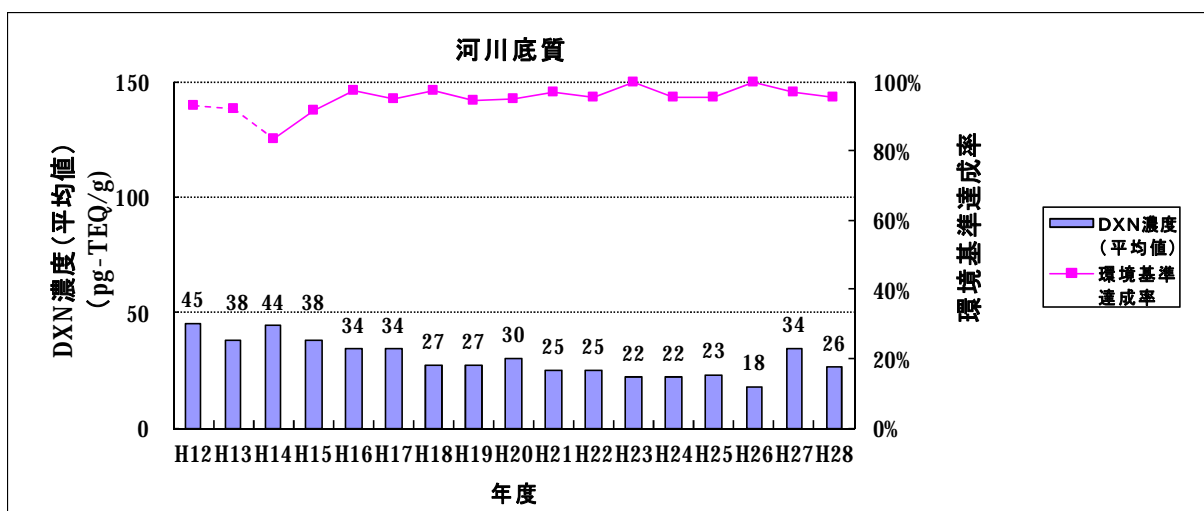


図4 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川底質)

イ 海域底質〔図5、図7、表5〕

平成28年度の海域底質の調査は8地点で実施しました(一部地点は、3年ごとに実施。)。濃度範囲は0.34~17 pg-TEQ/g、平均値は10 pg-TEQ/gであり、全ての地点で環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成14年度の52pg-TEQ/gを除き、平成12年度の測定開始後、緩やかな改善傾向で推移しています。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成16年度以降、全ての地点で環境基準を達成しています。

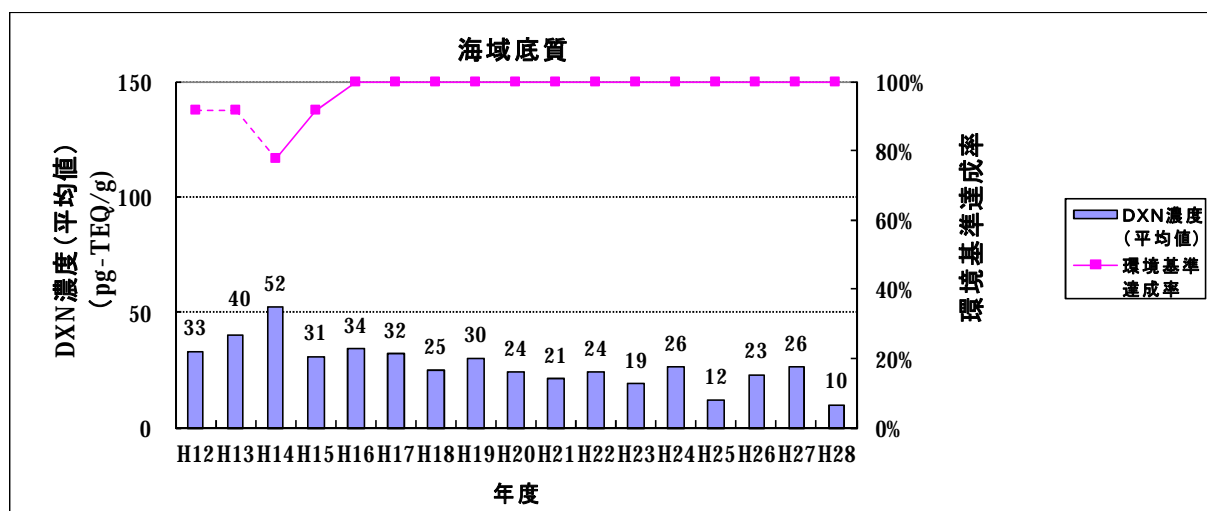


図5 ダイオキシン類常時監視結果の推移（海域底質）

(4) 地下水質〔環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下〕〔表6〕

平成28年度の地下水質の調査は、21地点で実施しました。濃度範囲は0.017～0.14pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成しました。

地下水質調査は、人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね3年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により毎年地点を変えて行っており、平成12年度から平成28年度の17年間に計494地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

(5) 土壌〔環境基準 1000 pg-TEQ/g 以下〕〔表7〕

平成28年度の土壌調査は24地点で実施しました。濃度範囲は0.0012～5.8pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成しました。

土壌調査は人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね3年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により毎年地点を変えて行っており、平成12年度から平成28年度の17年間に計872地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

(6) 環境基準の超過に対する対応

ア 河川水質

平成12年度～平成28年度において、恩智川「住道新橋」では10回、寝屋川「今津橋」では8回環境基準を超過しましたが、いずれも上水道水源としての利用はなく、現時点で健康被害の恐れはないと考えられます。

今後も、常時監視を継続し、環境基準を超過した地点については追跡調査を実施します。

イ 河川底質

平成12年度～平成28年度において、左門殿川「辰巳橋」では7回、神崎川「千船橋」では8回及び安治川「天保山渡」では今回はじめて環境基準を超過しましたが、いずれも水質環境基準の超過はなく、いずれも上水道水源としての利用もないことから、現時点で健康被害の恐れはないと考えられます。

今後も、必要に応じて学識経験者で構成する「大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会※」の意見を聴いた上で対策を進めるなど、関係機関と連携して環境基準の達成に向けた取組を進めていきます。

※「大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会」は、従来設置していた「河川及び港湾の底質浄化対

策検討委員会」、「大阪市底質対策等技術検討会」及び「正蓮寺川総合整備事業に係わる環境監視委員会」を統合し、平成 24 年 11 月に設置した府の附属機関です。

表 1 平成 28 年度ダイオキシン類常時監視結果一覧

調査項目 (単位)	調査地点数	環境基準値超過地点数	濃度範囲 [※]	平均値 [※]	環境基準
大気 (pg-TEQ/m ³)	32	-	0.0063 ~ 0.054	0.017	0.6
公共用水域水質 (pg-TEQ/L)					
河川	67	2	0.021 ~ 1.2	0.26	1
海域	8	-	0.017 ~ 0.067	0.037	
公共用水域底質 (pg-TEQ/g)					
河川	67	3	0.14 ~ 490	26	150
海域	8	-	0.34 ~ 17	10	
地下水質 (pg-TEQ/L)	21	-	0.017 ~ 0.14	0.047	1
土壌 (pg-TEQ/g)					
一般環境把握調査	24	-	0.0012 ~ 5.8	1.0	1,000

※平均値は各地点の年間平均値の平均値であり、濃度範囲は年間平均値の最小値及び最大値である。

表2 ダイオキシン類年度別常時監視結果一覧

調査項目		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
大気	濃度範囲	0.073 ～0.64	0.036 ～1.7	0.030 ～0.84	0.029 ～0.35	0.029 ～0.28	0.016 ～0.15	0.016 ～0.19	0.017 ～0.17	0.022 ～0.13	0.014 ～0.096	0.012 ～0.098	0.0089 ～0.15	0.011 ～0.13	0.0084 ～0.058	0.0084 ～0.053	0.0086 ～0.048	0.0063 ～0.054	
	平均値	0.30	0.19	0.18	0.092	0.087	0.059	0.068	0.057	0.051	0.038	0.036	0.036	0.040	0.024	0.021	0.021	0.017	
	調査地点数	40	58	58	59	56	54	50	45	40	40	39	38	39	39	36	32	32	
	環境基準超過地点数	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	39	56	57	59	56	54	50	45	40	40	39	38	39	39	36	32	32	
	環境基準達成率	97.5%	96.6%	98.3%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
公共用水域 水質	河川	濃度範囲	0.051 ～2.9	0.064 ～3.9	0.069 ～2.7	0.059 ～7.0	0.041 ～2.4	0.028 ～4.1	0.054 ～3.2	0.046 ～2.0	0.023 ～1.5	0.033 ～2.4	0.055 ～1.6	0.064 ～3.4	0.031 ～2.5	0.064 ～2.1	0.022 ～1.2	0.036 ～1.8	0.021 ～1.2
		平均値	0.55	0.45	0.55	0.55	0.49	0.47	0.51	0.47	0.35	0.35	0.38	0.40	0.35	0.38	0.29	0.31	0.26
		調査地点数	73	76	76	72	74	77	75	75	79	66	66	73	70	67	71	67	67
		環境基準超過地点数	9	9	8	9	9	8	8	5	3	6	3	2	5	3	2	2	2
		環境基準達成地点数	64	67	68	63	65	69	67	74	63	60	70	68	62	68	65	65	
		環境基準達成率	87.7%	88.2%	89.5%	87.5%	87.8%	89.6%	89.3%	89.3%	93.7%	95.5%	90.9%	95.9%	97.1%	92.5%	95.8%	97.0%	97.0%
	海域	濃度範囲	0.041 ～1.0	0.043 ～0.44	0.069 ～0.60	0.020 ～0.35	0.030 ～0.63	0.042 ～1.0	0.028 ～0.48	0.026 ～0.64	0.013 ～0.38	0.041 ～0.50	0.038 ～0.27	0.042 ～0.25	0.020 ～0.37	0.022 ～0.32	0.027 ～0.48	0.029 ～0.19	0.017 ～0.067
		平均値	0.22	0.13	0.17	0.13	0.13	0.15	0.13	0.12	0.11	0.15	0.12	0.10	0.10	0.077	0.11	0.077	
		調査地点数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	10	10	8	
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		環境基準達成地点数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	10	10	8	
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
公共用水域 底質	河川	濃度範囲	0.18 ～510	0.11 ～320	0.17 ～370	0.16 ～370	0.12 ～540	0.22 ～510	0.23 ～300	0.18 ～250	0.10 ～500	0.21 ～160	0.12 ～190	0.17 ～150	0.14 ～190	0.13 ～190	0.12 ～150	0.074 ～1100	0.14 ～490
		平均値	45	38	44	38	34	34	27	24	30	25	25	22	22	23	18	34	26
		調査地点数	72	78	73	70	74	77	75	75	79	66	66	73	69	67	72	67	67
		環境基準超過地点数	(5)	(6)	(12)	(6)	(2)	(4)	(2)	(4)	(4)	(2)	(3)	(0)	(3)	(3)	(0)	(2)	(3)
		環境基準達成地点数	(67)	(72)	(61)	(64)	(72)	(73)	(73)	(71)	(75)	(64)	(63)	(73)	(66)	(64)	(72)	(65)	(64)
		環境基準達成率	(93.1%)	(92.3%)	83.6%	91.4%	97.3%	94.8%	97.3%	94.7%	94.9%	97.0%	95.5%	100.0%	95.7%	95.5%	100%	97.0%	95.5%
	海域	濃度範囲	3.3 ～160	3.2 ～190	1.5 ～190	0.67 ～170	1.7 ～150	1.2 ～100	1.2 ～84	1.0 ～110	2.5 ～88	0.41 ～71	0.92 ～100	1.1 ～64	0.44 ～100	1.0 ～36	1.8 ～79	0.66 ～100	0.34 ～17
		平均値	33	40	52	31	34	32	25	30	24	21	24	19	26	23	26	10	
		調査地点数	12	12	9	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	10	10	8	
		環境基準超過地点数	(1)	(1)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
		環境基準達成地点数	(11)	(11)	(7)	(11)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(10)	(10)	(10)	(8)	
		環境基準達成率	(91.7%)	(91.7%)	77.8%	91.7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
地下水質	濃度範囲	0.00081 ～0.48	0.016 ～0.91	0.022 ～0.81	0.018 ～0.47	0.010 ～0.73	0.011 ～0.14	0.024 ～0.48	0.013 ～0.13	0.014 ～0.086	0.022 ～0.17	0.024 ～0.29	0.016 ～0.25	0.015 ～0.16	0.014 ～0.090	0.018 ～0.18	0.014 ～0.10	0.017 ～0.14	
	平均値	0.10	0.16	0.13	0.11	0.097	0.045	0.10	0.031	0.054	0.057	0.072	0.070	0.044	0.039	0.066	0.037		
	調査地点数	41	47	47	45	44	31	29	28	17	18	21	21	21	21	21	21		
	環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	環境基準達成地点数	41	47	47	45	44	31	29	28	17	18	21	21	21	21	21	21		
	環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
土壌	一般環境	濃度範囲	0.0023 ～56	0.0012 ～30	0.0010 ～26	0.00019 ～42	0.00012 ～70	0.0028 ～70	0.031 ～16	0.019 ～84	0.0049 ～24	0.037 ～10	0.0064 ～61	0.0021 ～28	0.00042 ～8.3	0.0048 ～110	0.0069 ～14	0.026 ～8.4	0.0012 ～5.8
		平均値	4.3	2.4	2.6	2.0	2.2	3.3	2.9	4.4	2.7	1.4	4.2	1.8	1.8	6.4	1.3	1.1	
		調査地点数	109	118	87	98	94	48	37	37	27	26	31	29	27	27	27	26	
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		環境基準達成地点数	109	118	87	98	94	48	37	37	27	26	31	29	27	27	27	26	
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	発生源周辺	濃度範囲	9.8 ～92	0.11 ～50	0.0039 ～35	0.073 ～53	0.0036 ～5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		平均値	38	10	4.5	7.1	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		調査地点数	3	31	31	16	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		環境基準達成地点数	3	31	31	16	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) 底質の環境基準は平成14年9月から適用。

単位は大気 pg-TEQ/m³、水質 pg-TEQ/L、底質・土壌 pg-TEQ/g である。

土壌(発生源周辺)については、平成16年度で調査が完了したため平成17年度以降については実施していない。

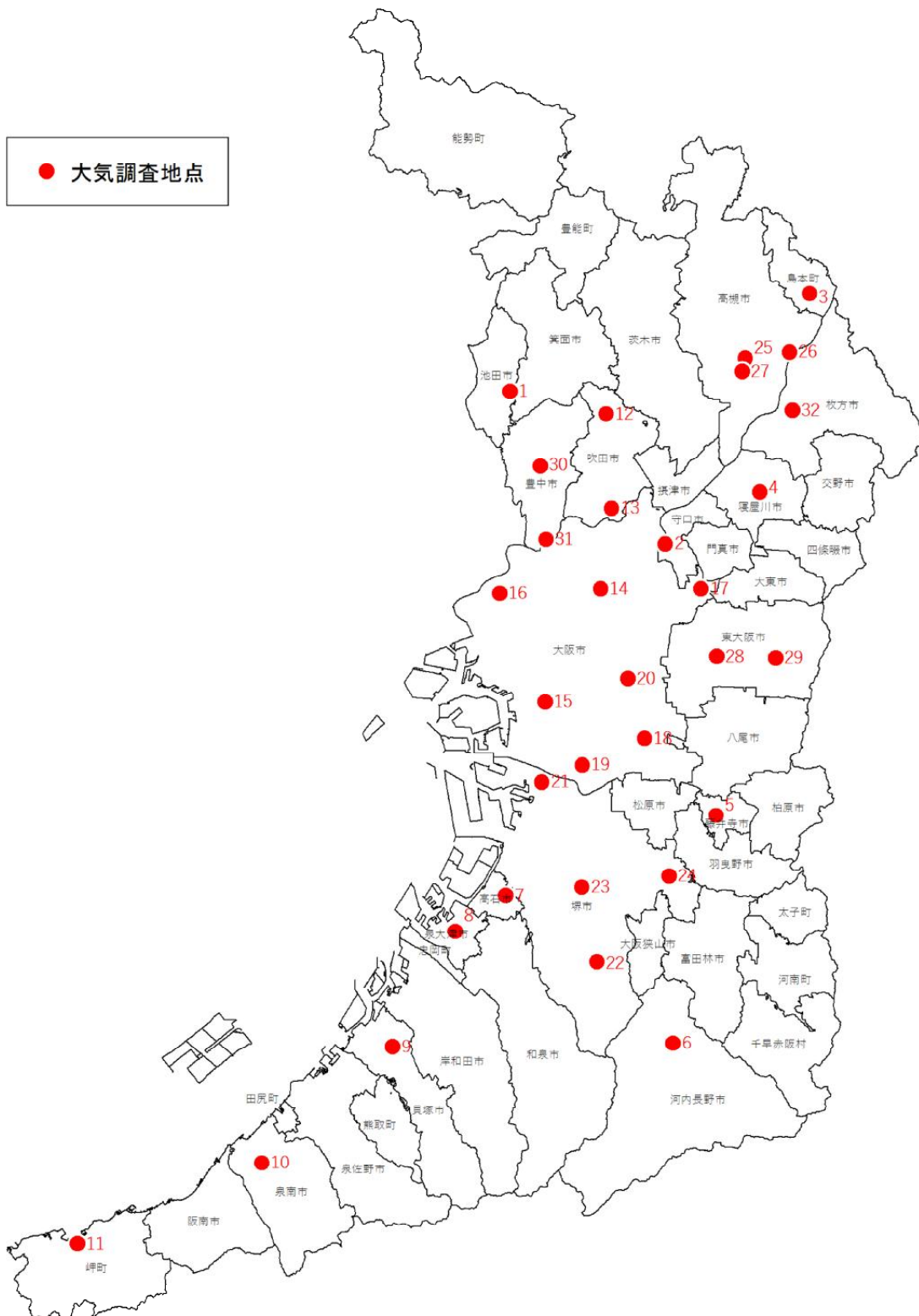


図6 平成28年度大気常時監視地点図

国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに大阪府が編集・加工

表3 平成28年度ダイオキシン類常時監視結果（大気）
（環境基準：年間平均値0.6 pg-TEQ/m³以下）

調査主体	測定地点名	測定値 (pg-TEQ/m ³)					図6 地点番号
		春	夏	秋	冬	年平均値	
大阪府	池田市立南畑会館局	0.0082	0.0092	0.0091	0.0093	0.0090	1
	淀川工科高校局	0.015	0.013	0.014	0.016	0.015	2
	島本町役場局	0.0097	0.012	0.0097	0.0092	0.010	3
	寝屋川市役所局	0.010	0.013	0.015	0.015	0.013	4
	藤井寺市役所局	0.014	0.016	0.016	0.022	0.017	5
	三田市公民館局	0.0093	0.011	0.010	0.018	0.012	6
	高石中学校局	0.013	0.014	0.020	0.014	0.015	7
	泉大津市役所	0.015	0.017	0.028	0.014	0.019	8
	貝塚市消防署局	0.014	0.013	0.026	0.015	0.017	9
	泉南市役所局	0.0099	0.014	0.020	0.014	0.014	10
	岬町役場局	0.0098	0.012	0.017	0.029	0.017	11
吹田市	吹田市北消防署局	0.0071	0.0063	0.0068	0.0062	0.0066	12
	吹田簡易裁判所局	0.015	0.0098	0.010	0.0084	0.011	13
大阪市	菅北小学校	—	0.016	—	0.018	0.017	14
	平尾小学校	—	0.022	—	0.086	0.054	15
	淀中学校	—	0.018	—	0.025	0.022	16
	茨北北小学校	—	0.040	—	0.019	0.030	17
	摂陽中学校	—	0.023	—	0.022	0.023	18
	住吉区役所	—	0.024	—	0.027	0.026	19
	勝山中学校	—	0.021	—	0.023	0.022	20
堺市	三宝局	0.031	0.025	0.022	0.043	0.030	21
	若松台局	0.010	0.011	0.011	0.011	0.011	22
	深井局	0.013	0.019	0.019	0.016	0.017	23
	美原局	0.014	0.024	0.019	0.013	0.018	24
高槻市	高槻市役所局	0.010	0.0034	0.012	0.0060	0.0079	25
	前島公民館	0.023	0.016	0.0088	0.045	0.023	26
	庄所局	0.0077	0.0058	0.014	0.0066	0.0085	27
東大阪市	環境衛生検査センター	0.012	0.010	0.013	0.019	0.014	28
	旭町庁舎	0.014	0.0065	0.010	0.019	0.012	29
豊中市	豊中市役所局	0.0083	0.0059	0.0062	0.0046	0.0063	30
	豊中市千成局	0.016	0.012	0.0090	0.012	0.012	31
枚方市	枚方市役所局	0.013	0.017	0.018	0.0070	0.014	32
平均値		0.013	0.015	0.015	0.019	0.017	

[試料採取日] 春季 5月12日～5月19日 夏季 8月18日～8月25日
秋季 10月13日～10月20日 冬季 1月12日～1月19日

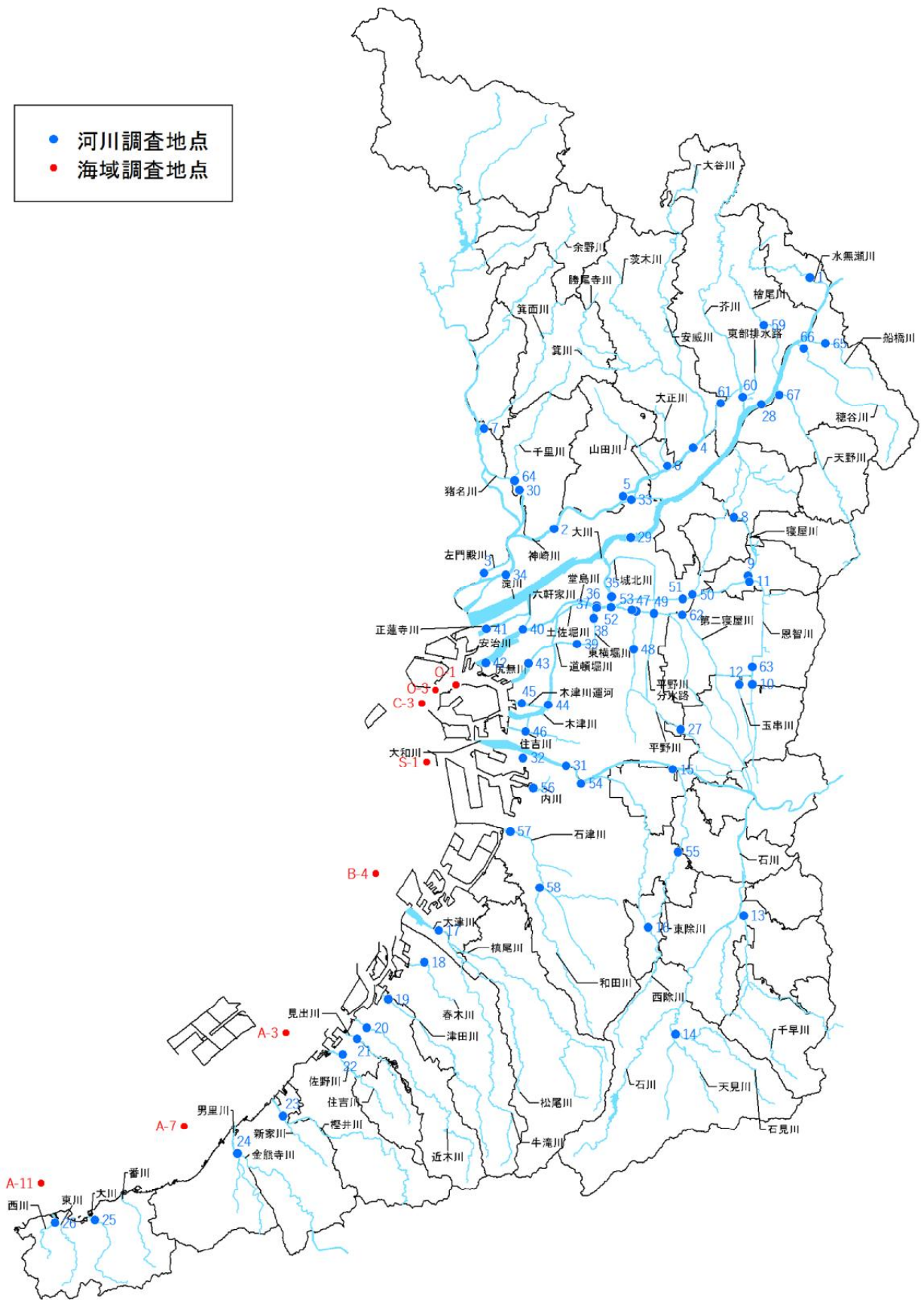


図7 平成28年度河川・海域常時監視地点図

国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに大阪府が編集・加工

表4 平成28年度ダイオキシン類常時監視結果(河川水質・底質)
(環境基準:水質 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150 pg-TEQ/g 以下)

調査主体	水域名	河川名	調査地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)					底質測定値 (pg-TEQ/g)	図7 地点 番号	
				1回目	2回目	3回目	4回目	年平均値			
大阪府	淀川	水無瀬川	名神高速道路高架橋下	0.021	0.020	—	—	0.021	0.19	1	
		神崎川	神崎川	新三国橋	0.63	0.11	—	—	0.37	12	2
	左門殿川		辰巳橋	0.23	0.092	—	—	0.16	* 180	3	
	安威川		宮島橋	0.10	0.053	—	—	0.077	2.3	4	
	安威川		新京阪橋	0.23	0.19	—	—	0.21	0.47	5	
	大正川		安威川合流直前	0.18	0.16	—	—	0.17	0.43	6	
	箕面川		府県境	0.036	0.025	—	—	0.031	0.28	7	
	寝屋川	寝屋川	萱島橋	0.13	0.073	—	—	0.10	1.0	8	
		寝屋川	住道大橋	0.43	0.16	—	—	0.30	4.3	9	
		恩智川	福栄橋下流100m	0.59	0.33	—	—	0.46	1.9	10	
		恩智川	住道新橋	1.1	1.1	—	—	* 1.1	8.4	11	
	大和川	玉串川	JAグリーン大阪前	0.42	0.64	—	—	0.53	0.98	12	
		千早川	石川合流直前	0.048	0.21	—	—	0.13	0.21	13	
		石見川	新高野橋	0.043	0.020	—	—	0.032	0.19	14	
		東除川	明治小橋	0.20	0.18	—	—	0.19	0.63	15	
		西除川	狭山池合流直前	0.16	0.087	—	—	0.12	0.53	16	
		泉州諸河川	大津川	大津川橋	0.33	0.73	—	—	0.53	0.27	17
			春木川	春木橋	0.27	0.38	—	—	0.33	0.37	18
			津田川	昭代橋	0.53	0.70	—	—	0.62	0.52	19
			近木川	近木川橋	0.10	0.12	—	—	0.11	0.90	20
			見出川	見出橋	0.45	0.32	—	—	0.39	5.1	21
	佐野川		昭平橋	0.25	0.40	—	—	0.33	0.81	22	
	櫻井川		櫻井川橋	0.49	0.39	—	—	0.44	0.81	23	
	男里川		男里川橋	0.19	0.16	—	—	0.18	1.0	24	
	大和川	大川	昭南橋	0.16	0.11	—	—	0.14	1.3	25	
		西川	こうや橋	0.077	0.036	—	—	0.057	1.8	26	
八尾市	寝屋川	平野川	東竹瀬橋	0.69	0.099	—	—	0.39	1.5	27	
近畿地方 整備局	淀川	淀川	枚方大橋中央	0.15	—	—	—	0.15	0.22	28	
		淀川	菅原城北大橋	0.16	—	—	—	0.16	0.24	29	
	神崎川	猪名川	利倉	0.082	—	—	—	0.082	0.29	30	
	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.18	0.21	0.3	0.21	0.23	0.27	31	
大和川		河口部 中	0.18	0.28	0.34	0.23	0.26	0.28	32		
大阪市	神崎川	神崎川	小松橋(江口橋) ※	0.27	0.40	—	—	0.34	7.6	33	
		神崎川	千船橋	0.26	0.089	—	—	0.17	* 490	34	
	大阪市内河川	大川	桜宮橋	0.27	—	—	—	0.27	19	35	
		堂島川	天神橋(右)	0.50	0.34	—	—	0.42	41	36	
		土佐堀川	天神橋(左)	0.45	0.30	—	—	0.38	2.3	37	
		東横堀川	本町橋	0.41	0.66	—	—	0.54	6.0	38	
		道頓堀川	大黒橋	1.2	0.37	0.84	0.46	0.72	26	39	
		六軒家川	春日出橋	0.21	—	—	—	0.21	48	40	
		正蓮寺川	北港大橋下流700m	0.13	—	—	—	0.13	53	41	
		安治川	天保山渡	0.079	—	—	—	0.079	* 170	42	
		尻無川	甚兵衛渡	0.18	—	—	—	0.18	67	43	
		木津川	千本松渡	0.093	—	—	—	0.093	74	44	
		木津川運河	船町渡	0.20	0.21	—	—	0.21	150	45	
		住吉川	住之江大橋下流1100m	0.10	—	—	—	0.10	56	46	
	寝屋川	平野川	城見橋	0.24	0.13	—	—	0.19	100	47	
		平野川	南弁天橋	0.22	—	—	—	0.22	24	48	
		平野川分水路	天王田大橋	0.14	—	—	—	0.14	10	49	
		古川	徳栄橋(中茶屋橋) ※	0.62	0.37	0.33	1.1	0.61	46	50	
		寝屋川	今津橋	1.2	2.5	0.21	0.79	* 1.2	6.0	51	
		寝屋川	京橋	0.35	0.54	—	—	0.45	0.71	52	
第二寝屋川		下城見橋	0.53	0.12	—	—	0.33	14	53		
堺市		大和川	西除川	大和川合流直前	0.092	—	—	—	0.092	0.33	54
	東除川		新大阪橋	0.078	—	—	—	0.078	0.16	55	
	泉州諸河川	内川	堅川橋	0.081	—	—	—	0.081	57	56	
		石津川	石津川橋	0.077	—	—	—	0.077	8.3	57	
		和田川	小野々井橋	0.18	—	—	—	0.18	0.92	58	
高槻市	淀川	檜尾川	磐手杜神社	0.077	—	—	—	0.077	5.5	59	
		芥川	鷺打橋	0.076	—	—	—	0.076	0.31	60	
東大阪市	神崎川	番田井路	玉川橋	0.12	—	—	—	0.12	4.5	61	
		第二寝屋川	新金吾郎橋	0.34	0.092	—	—	0.22	1.3	62	
豊中市	神崎川	恩智川	三池橋	0.59	0.72	—	—	0.66	26	63	
		千里川	猪名川合流直前	0.11	0.11	—	—	0.11	0.81	64	
枚方市	淀川	船橋川	新登橋上流	0.22	0.18	—	—	0.20	0.38	65	
		穂谷川	淀川合流直前	0.13	0.14	—	—	0.14	0.21	66	
		天野川	淀川合流直前	0.090	0.098	—	—	0.094	0.14	67	
平均値								0.26	26		

※の()内は、底質を採取した地点を示す。

底質の年間測定回数は1回である。

*は環境基準超過を示す。

表5 平成28年度ダイオキシン類常時監視結果（海域水質・底質）
 （環境基準：水質 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	水域名	測定地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)	底質測定値 (pg-TEQ/g)	図7 地点 番号
大阪府	大阪湾(1)	南港西	0.040	8.1	C-3
	大阪湾(2)	泉大津沖	0.033	14	B-4
	大阪湾(3)	りんくう沖	0.022	6.6	A-3
	大阪湾(4)	尾崎沖	0.021	7.9	A-7
	大阪湾(5)	観音崎沖	0.017	0.34	A-11
大阪市	大阪湾(1)	No.5ブイ跡	0.067	12	0-1
		大阪港関門外	0.031	15	0-3
堺市	大阪湾(1)	堺第7-3区沖	0.063	17	S-1
平均値			0.037	10	

(注) 年間測定回数は1回である。

表6 平成28年度ダイオキシン類常時監視結果（地下水質）
 （環境基準：年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下）

調査主体	所在地	測定値 (pg-TEQ/L)
大阪府	豊能郡能勢町野間中	0.021
	豊能郡豊能町吉川	0.021
	三島郡島本町広瀬	0.018
	箕面市箕面	0.040
	交野市私市	0.017
	四條畷市下田原	0.018
	南河内郡太子町葉室	0.025
	南河内郡千早赤阪村千早	0.027
	泉北郡忠岡町北出	0.038
	和泉市納花町	0.028
	八尾市	八尾市西高安町
八尾市久宝寺		0.062
大阪市	大阪市生野区巽中	0.14
堺市	堺市東区高松	0.062
	堺市西区菱木	0.078
	堺市美原区菅生	0.063
高槻市	高槻市東上牧	0.064
東大阪市	東大阪市西石切町	0.036
	東大阪市古箕輪	0.037
豊中市	豊中市桜の町	0.061
枚方市	枚方市楠葉野田	0.067
平均値		0.047

(注) 年間測定回数は1回である。

表7 平成28年度ダイオキシン類常時監視結果（土壌一般環境調査）
（環境基準：1000 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	測定地点		測定値 (pg-TEQ/g)
	所在地	地点名	
大阪府	豊能郡能勢町宿野	旧能勢町立久佐々小学校	0.0012
	豊能郡豊能町余野	豊能町立東能勢中学校	0.11
	三島郡島本町広瀬	藤の木公園	1.1
	箕面市如意谷	山手公園	0.0064
	交野市大字私部	大阪府民の森くろんど園地	2.0
	四條畷市下田原	飯盛霊園組合	1.5
	南河内郡太子町山田	太子町立総合スポーツ公園	0.11
	南河内郡千早赤阪村小吹	千早小吹台小学校	0.21
	泉北郡忠岡町忠岡南	忠岡町立忠岡幼稚園	0.43
	和泉市伏屋町	伏屋9号公園	5.8
八尾市	八尾市東山本町	東山本小学校	0.25
	八尾市高美町	高美南小学校	0.22
柏原市	柏原市円明町	円明運動広場	0.73
大阪市	大阪市浪速区大国	大國小学校	1.6
	大阪市都島区善源寺町	善源寺楠公園	3.2
堺市	堺市北区長曾根町	長曾根中池公園	0.66
	堺市東区白鷺町	白鷺公園	2.0
	堺市西区鳳南町	鳳公園	0.015
	堺市南区桃山台	西原公園	0.069
高槻市	高槻市柱本新町	高槻市立柱本小学校	0.031
東大阪市	東大阪市金物町	金物町公園	1.7
	東大阪市加納	加納公園	0.82
豊中市	豊中市曾根南町	豊島公園	0.017
枚方市	枚方市積尊寺町	枚方市立川越小学校	1.2
平均値			1.0

(注) 年間測定回数は1回である。

2 追跡調査結果

平成 28 年度に地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所等と連携して実施した追跡調査結果は、次のとおりです。

(1) 寝屋川水域における調査結果

① 恩智川

「住道新橋」は、平成 12 年度から常時監視を実施しており、平成 14、18、21、23、24、26、27 年度は環境基準（1pg-TEQ/L）を達成しましたが、その他の年度は環境基準を超過していました。これまでに東大阪市と連携し上流域の調査や季節変動調査を実施しましたが原因の特定には至っていません。

【調査内容】

平成 25 年度に水質の環境基準を超過した「住道新橋」の上流側に位置する 4 地点（「南新田橋」、「薬師橋」、「式部橋」、「中高橋」）において、平成 27 年度に引き続き、調査を行いました（図 8）。

【調査結果】

平成 28 年度は、常時監視点の「三池橋」（東大阪市調査）、「福栄橋下流 100m」では環境基準値以下でした。追跡調査地点のうち、「南新田橋」については、夏季及び冬季において環境基準値を超過し、「式部橋」については、秋季は環境基準値を下回っていましたが、年平均値では環境基準値を超過しました。他の追跡調査地点では、環境基準値以下でした（表 8）。

【今後の対応】

平成 28 年度において環境基準を超過した「南新田橋」、「式部橋」について引き続き水質調査を実施するとともに、「式部橋」上流に当該河川へ流入する水路（「式部橋流入水路」）が確認されたため、追跡調査を実施します。また、さらに上流側の「中高橋」でも引き続き経過観察を実施します。

【調査地点位置図】

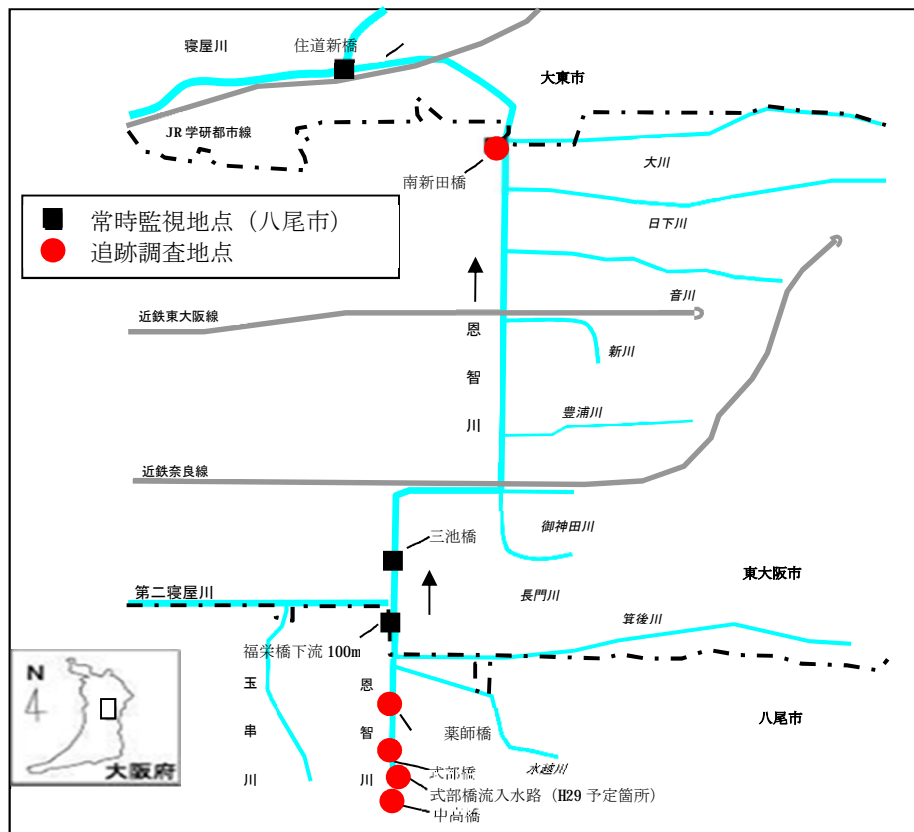


図 8 恩智川追跡調査地点図

表8 恩智川追跡調査結果

河川名	調査地点	年度	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)				
			春	夏	秋	冬	平均値
恩智川	住道新橋	H 18	3.0	★ 1.2	★ 0.48	1.2	1.5
		H 19	1.2	★ 1.2	★ 1.5	1.1	1.3
		H 20	-	★ 0.82	★ 1.3	2.0	1.2
			-	0.70	-	-	
		H 21	0.82	★ 1.3	★ 0.70	1.0	0.96
		H 22	1.3	★ 1.3	★ 1.1	1.4	1.3
		H 23	-	★ 0.57	★ 0.92	-	0.75
		H 24	-	★ 0.59	★ 0.66	-	0.63
		H 25	-	★ 1.4	★ 0.88	-	1.1
		H 26	-	★ 0.55	★ 1.2	-	0.88
		H 27	-	★ 0.45	★ 0.88	-	0.67
	H 28	-	★ 1.1	★ 1.1	-	1.1	
	南新田橋	H 23	-	1.0	1.0	-	1.0
			-	■ 0.52	-	■ 0.13	0.33
		H 24	-	1.8	0.70	-	1.3
		H 25	-	■ 2.5	-	■ 0.41	1.5
			-	-	0.39	-	-
		H 26	-	■ 0.41	-	■ 1.5	0.96
			-	-	0.40	-	-
	H 27	-	■ 1.2	-	■ 0.76	0.98	
		-	-	0.56	-	-	
	H 28	-	■ 2.0	-	■ 1.4	1.7	
	三池橋	H 23	-	★■ 0.38	-	★■ 0.87	0.63
			-	★■ 0.87	★■ 1.3	★■ 0.57	0.91
		H 25	-	★■ 1.3	-	★■ 1.3	1.3
		H 26	-	★■ 2.0	-	★■ 0.3	1.2
		H 27	-	★■ 0.70	-	★■ 0.97	0.84
		H 28	-	★■ 0.59	-	★■ 0.72	0.66
	福栄橋 下流 100m	H 23	-	★ 1.3	★ 0.74	-	1.0
		H 24	-	★ 0.71	★ 0.64	-	0.68
		H 25	-	★ 1.5	★ 0.74	-	1.1
		H 26	-	★ 2.0	★ 0.45	-	1.2
		H 27	-	★ 0.55	★ 0.62	-	0.59
		H 28	-	★ 0.59	★ 0.33	-	0.46
	薬師橋	H 26	-	1.4	0.24	-	0.82
		H 27	-	0.55	0.53	-	0.54
		H 28	-	0.68	0.23	-	0.46
	式部橋	H 27	-	0.59	0.49	-	0.54
		H 28	-	3.6	0.32	-	1.96
	中高橋	H 27	-	0.98	0.36	-	0.67
		H 28	-	0.78	0.27	-	0.53

★は常時監視結果、■は東大阪市調査分を示す。
府の追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所 (H24 以降)

②平野川

常時監視地点である平野川「東竹渕橋」については、平成 17 年度は年平均値で、平成 18 年度は夏季調査において環境基準値を超過したため、平成 19 及び 20 年度に上流からの影響を確認する調査を実施しましたが、原因の特定に至りませんでした。

平成 21 年度以降、上流地点を含めて経過観察を行っており、一部の地点において環境基準値を超過しています。

【調査内容】

「東竹渕橋」上流側において過去に環境基準値を超過した地点を中心に、4 地点（「⑩南太子橋」、「⑥了意橋上流」、「①大和川取水点」、「④八尾空港暗渠入口上流」）において水質濃度の推移を監視することを目的に調査を行いました（図 9）。

【調査結果】

平成 28 年度は、「了意橋上流」と「南太子橋」で環境基準値を超過しましたが、秋季には環境基準値以下でした。他の追跡調査地点では、「八尾空港暗渠入口上流」において、夏季に高い値が確認されましたが、年平均値では全ての地点で環境基準を達成しました（表 9）。環境基準を超過した地点においては浮遊物質量（SS）が高い値を示していることから、超過に関係しているものと考えられます。

【今後の対応】

平成 29 年度においても、上記各地点において、引き続き水質調査を実施します。また、SS の値が高い地点を把握し、状況に応じて底質濃度の調査を実施します。

【調査地点位置図】

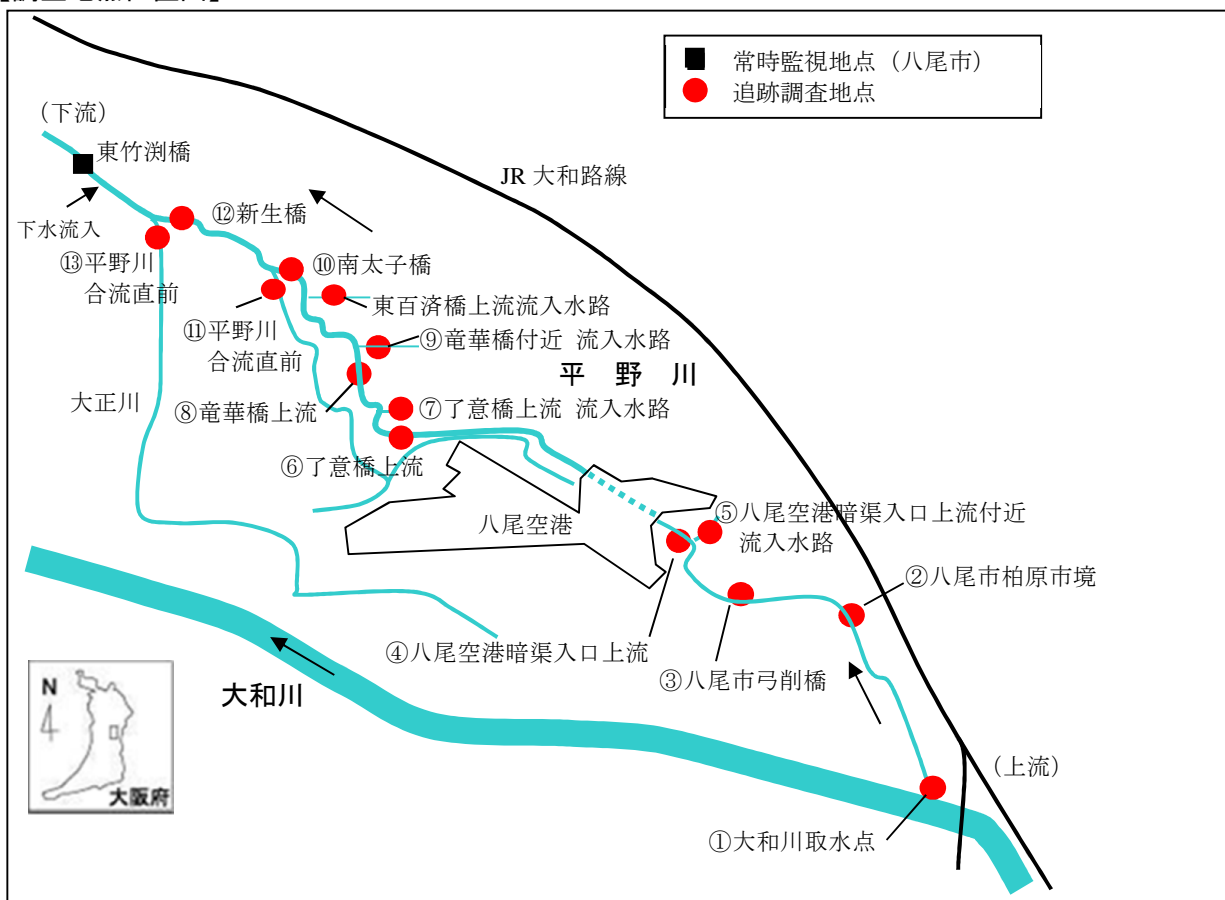


図 9 平野川追跡調査地点図

表9 平野川追跡調査結果

河川名	調査地点	年度	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)		
			夏	秋	平均値
平野川	① 大和川取水点	H 19	0.86	-	-
		H 20	0.85	-	-
		H 21	0.95	-	-
		H 22	1.4	0.23	0.82
		H 23	0.90	0.59	0.75
		H 24	0.57	0.34	0.46
		H 25	0.71	0.27	0.49
		H 26	0.44	0.21	0.33
		H 27	1.3	0.55	0.93
		H 28	0.53	0.37	0.45
	② 八尾市・柏原市境界	H 24	-	0.32	-
		H 25	-	0.44	-
	③ 八尾市弓削橋	H 26	0.87	0.36	0.62
	④ 八尾空港暗渠入口上流	H 20	2.2	-	-
		H 21	-	-	-
		H 22	2.3	-	-
		H 23	0.61	0.39	0.50
		H 24	2.7	0.57	1.6
		H 25	0.93	0.43	0.68
		H 26	0.84	0.36	0.60
		H 28	1.4	0.45	0.93
	⑤ 八尾空港暗渠入口上流付近 流入水路	H 20	1.5	-	-
	⑥ 了意橋上流	H 27	2.2	0.34	1.3
		H 28	2.1	0.44	1.3
	⑦ 了意橋上流流入水路	H 20	1.6	-	-
		H 27	0.81	0.28	0.55
	⑧ 竜華橋上流	H 20	1.5	-	-
	⑨ 竜華橋付近流入水路	H 20	0.48	-	-
	⑩ 南太子橋	H 19	7.1	-	-
		H 20	2.3	-	-
		H 21	3.6	-	-
		H 22	0.68	-	-
		H 23	3.0	0.68	1.8
H 24		2.8	0.97	1.9	
H 25		1.5	0.33	0.92	
H 26		1.8	0.38	1.1	
H 27		2.8	0.55	1.7	
	H 28	2.9	0.38	1.6	
⑪ 平野川合流直前	H 19	0.49	-	-	
⑫ 新生橋	H 19	5.4	-	-	
⑬ 大正川 平野川合流直前	H 19	1.6	-	-	
東竹湊橋	H 19	★■ 1.5	★■ 0.49	1.0	
	H 20	★■ 0.68	★■ 0.63	0.66	
	H 21	★■ 1.5	★■ 0.63	1.1	
	H 22	★■ 0.40	★■ 0.092	0.25	
	H 23	★■ 0.52	★■ 0.12	0.32	
	H 23	0.36	0.43	0.40	
	H 24	★■ 0.43	★■ 0.096	0.27	
	H 25	★■ 0.56	★■ 0.085	0.33	
	H 26	★■ 0.52	★■ 0.079	0.30	
	H 27	★■ 0.15	★■ 0.12	0.14	
	H 28	★■ 0.69	★■ 0.099	0.40	

★は常時監視結果、 ■は八尾市調査分を示す。

府の追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所 (H24以降)

(2) 神崎川水域における調査結果

①三箇牧水路

常時監視地点である神崎川「新三国橋」については、調査を開始した平成12年度以降において、平成20、23、24、25、27、28年度を除き、環境基準を超過しています。

本水域においては、平成13年度から原因究明のための追跡調査を実施し、平成17年度に神崎川水域・番田水路上流の三箇牧水路に、高濃度のダイオキシン類を含有する底質の存在が判明しました。そこで、平成18年度に、図10に示す鳥飼北部排水機場より上流の高濃度区間において、底質除去工事（工事期間：平成18年10月～平成19年3月）を実施しました。

平成19年度からは、底質除去工事後の経過を監視するため水質調査を行っており、その結果は表10のとおりです。

【調査内容】

底質除去工事後の経過を監視するために、6地点(西面橋、地点6、9、12、13、番田水路(鶴野橋))で水質の調査を、地点6、9、10、11、12、13の6地点で底質の調査を実施しました(図10)。

【調査結果】

水質については、夏季の調査において全ての地点で環境基準値を超過しました。冬季の調査においては全ての地点で環境基準値を下回ったものの、年平均値としては番田水路(鶴野橋)以外の地点において、環境基準値を超過しました(表10)。

底質については、地点6では対策前で11,000及び15,000 pg-TEQ/gでしたが、対策後は改善が確認されています。地点9でも改善が確認されているものの、環境基準を超過しています(表11)。「鳥飼北部排水機場」の下流部の底質は平成18年度、19年度に分析を行い環境基準超過が見られました。経過を確認するため、平成27年度に引き続き、28年度に調査を行った結果、環境基準を超過したものの、平成18、19年度の調査結果に比べ低い値となりました(表11)。

【今後の対応】

三箇牧水路については、対策区間において、ほとんどの底質が除去されていますが、追跡調査では、水質及び底質の環境基準を超過する場合もあることから、今後も、水質・底質のモニタリングを行い、対策後の経過を監視するとともに、汚染の再発防止のため周辺事業所の監視指導を継続します。

【調査地点位置図】

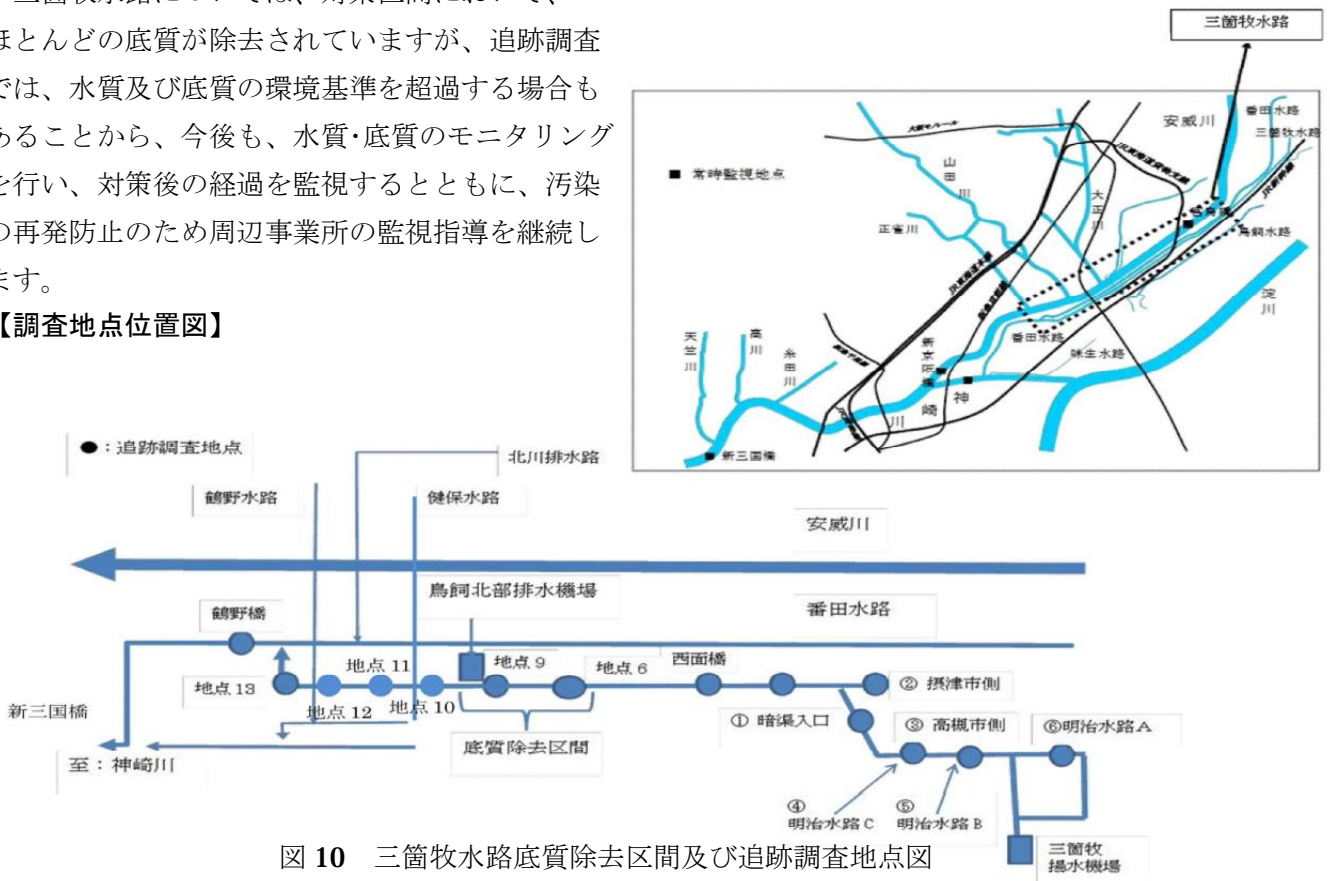


図10 三箇牧水路底質除去区間及び追跡調査地点図

表 10 底質除去工事後の三箇牧水路水質

河川名	調査地点	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)																																
		対策前																																
		H 17. 1.13	H 17. 7.20	H 17. 11.15																														
三箇牧水路	西面橋	-	2.8	0.65																														
	地点6	-	71	5.2																														
	地点9	-	-	-																														
	地点10	55	40	58																														
	地点11	-	-	-																														
	地点12	-	-	-																														
	地点13	-	-	-																														
番田水路	鶴野橋	9.3	3.2	1.2																														
河川名	調査地点	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)																																
		平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度					平成25年度			平成26年度				平成27年度			平成28年度		
		H 19. 7.3	H 19. 10.23	H 20. 1.11	H 20. 9.1	H 21. 1.28	H 21. 9.25	H 21. ※2 H22. 1.28	H 22. 9.7	H 23. 1.25	H 23. 9.13	H 24. 1.26	年平均値	H 24. 5.21	H 24. 7.27	H 24. 9.28	H 25. 1.28	H 25. 1.29	年平均値	H 25. 11.6	H 26. 1.15	年平均値	H 26. 9.29	H 26. 9.30	H 27. 2.10	年平均値	H 27. 10.9	H 28. 1.15	年平均値	H 28. 7.4	H 29. 1.26	年平均値		
西面橋	0.75	0.15	0.47	1.1	0.19	0.60	2.7	2.6	0.42	4.6	4.3	4.45	6.3	0.18	0.31	0.43	0.14	1.5	0.14	0.11	0.13	0.25	-	0.17	0.21	0.65	0.34	0.50	1.8	0.21	1.01			
地点6	1.7	1.1	1.2	1.6	0.25	1.2	1.8	3.2	0.37	3.4	0.28	1.84	-	-	2.0	-	0.24	1.1	3.0	0.68	1.8	1.5	-	0.99	1.25	2.0	0.48	1.2	6.3	0.51	3.4			
地点9	75	0.78	1.7	1.4	0.60	0.61	2.1	0.88	0.51	0.46	0.27	0.37	-	-	1.2	-	0.41	0.81	1.8	0.37	1.1	1.6	-	0.43	1.0	1.4	0.29	0.85	2.9	0.28	1.59			
地点10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	0.81	1.16	-	-	-	-	-				
地点11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	1.9	1.65	-	-	-	-	-				
地点12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	0.97	3.29	0.97	0.32	0.65	2.1	0.85	1.48			
地点13	8.0	1.7	5.9	0.90	0.63	1.1	3.5	3.3	1.0	0.52	0.34	0.43	-	-	1.6	-	0.25	0.93	2.9	0.31	1.6	4.8	-	1.1	3.0	0.98	0.23	0.61	2.0	0.85	1.43			
番田水路	鶴野橋	1.2	2.0	0.41	0.93	(※1)	0.81	(※3)	0.66	0.31	0.99	0.16	0.58	-	-	2.2	-	0.61	1.4	0.56	0.29	0.43	0.74	-	0.16	0.45	0.36	0.23	0.30	1.2	0.18	0.69		

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所 (H24以降)

※1 河川工事により河川水無し。

※2 降雨時及び降雨後に採水したため、水質濃度が高かったものと考えられる。

※3 降雨による濁度で三箇牧水路と比較・検討できないため、採水を中止。

表 11 鳥飼北部排水機場上下流部の底質

河川名	調査地点	ダイオキシン類底質濃度 (pg-TEQ/g)													
		対策前		対策後											
		H17.11.15	H18.6.29	H19.7.3	H20.9.1	H21.9.25	H22.9.7	H23.9.13	H24.7.27	H24.9.28	H25.11.6	H25.11.13	H26.9.29	H27.10.16	H28.6.24
三箇牧 水路	上流	暗渠入口	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-
		西面橋	13	-	-	-	16	-	-	26	-	-	-	-	-
		地点 6	11,000	15,000	-	120	79	58	72	-	240	88	-	130	110
		地点 9	3,100	4,800	-	1,000	340	340	430	-	220	220	-	290	260
	下流	地点 10	-	1,800	-	-	-	-	-	-	-	-	250	140	270
		地点 11	-	-	2,100	-	-	-	-	-	-	-	730	630	370
		地点 12	-	-	1,200	-	-	-	-	-	-	-	270	290	220
		地点 13	-	-	590	-	-	-	-	-	-	-	140	210	120

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所 (H24 以降)

②左門殿川

常時監視地点である左門殿川「辰巳橋」の底質は、調査を開始した平成12年度以降において、平成12、14、15、20、21、27、28年度に環境基準（150 pg-TEQ/g）を超過しています。平成27年度の常時監視において高濃度（1100 pg-TEQ/g）の超過が見られたため、同年、追跡調査（平成28年1月14日実施）を行い、付近9地点において詳細に調査しましたが、環境基準値の超過は見られませんでした。平成28年度においても付近3地点について追跡調査（平成28年4月19日実施）を実施したところ、環境基準値の超過は見られなかったものの、常時監視（平成28年7月21日実施）において、180pg-TEQ/gと超過が見られました。なお、水質については、環境基準を達成しました。（0.16pg-TEQ/L）

【調査内容】

汚染の状況を把握するため、「辰巳橋」（常時監視地点）及びその周辺2地点で底質調査を実施しました（図11、12）。

【調査結果】

追跡調査においては、いずれの地点でも環境基準値を下回りましたが、その後の常時監視において、環境基準値を超過しました（表12）。

また、常時監視で採取したダイオキシン類成分の割合については、高濃度の超過が確認された平成27年度を除き、同様の傾向でした。

【今後の対応】

平成29年度については、常時監視を行い、必要に応じて追跡調査を実施します。

【調査地点位置図】



国土地理院地図電子国土 Web を加工して作成

図11 辰巳橋位置図

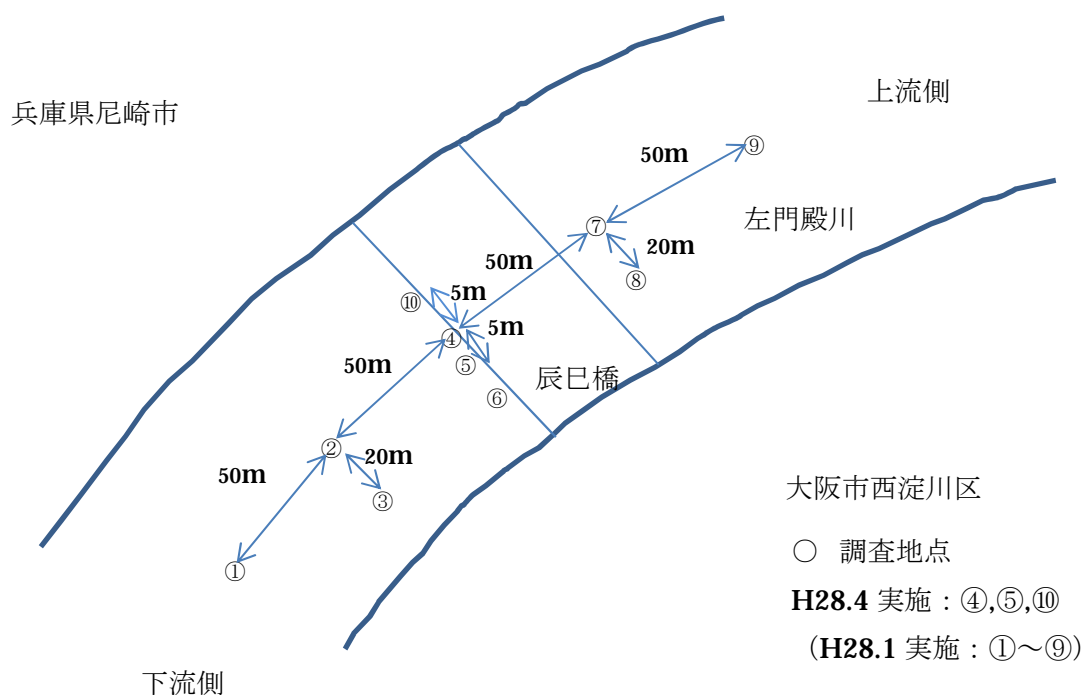


図 12 左門殿川の底質の追跡調査地点図

表 12 左門殿川の底質調査結果一覧

地点名	地点位置	H27. 7. 31 常監	H28. 1. 14	H28. 4. 19	H28. 7. 21 常監
①	下流 100mの流心地点	—	53pg-TEQ/g	—	—
②	下流 50mの流心地点	—	31pg-TEQ/g	—	—
③	下流 50mの流心より 20m左岸寄	—	32pg-TEQ/g	—	—
④	橋梁下流端の流心地点	1100 pg-TEQ/g	87pg-TEQ/g	72pg-TEQ/g	180 pg-TEQ/g
⑤	橋梁下流端の流心より 5m左岸寄	—	140pg-TEQ/g	46pg-TEQ/g	—
⑥	橋梁下流端の流心より 20m左岸寄	—	71pg-TEQ/g	—	—
⑦	上流 50mの流心地点	—	25pg-TEQ/g	—	—
⑧	上流 50mの流心より 20m左岸寄	—	43pg-TEQ/g	—	—
⑨	上流 100mの流心地点	—	21pg-TEQ/g	—	—
⑩	橋梁下流端の流心より 5m右岸寄	—	—	46pg-TEQ/g	—

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所（H24 以降）